

福岡中央病院 脳神経センター

- 福岡中央病院脳神経センターを開設しました。
ふるえ、ふらつき、もの忘れ、脱力、頭痛、ジンジン感などを幅広く治療します。
- 当センターでは、脳神経内科専門医、認知症学会認定認知症専門医、臨床神経生理学学会認定脳波・筋電図専門医、老年精神医学会専門医が、脳神経疾患の急性期から慢性期まで総合的な診療にあたっています。

脳神経センターでは、脳や脊髄、末梢神経、そして筋肉の病気を専門的に診療しています。脳や神経の病気は、全身にいろいろな症状が出ます。たとえば、うまく力が入らない、歩きにくい、しゃべりにくい、ふるえる、もの忘れがひどい、頭が痛い、体がジンジンする、感じがにぶい、けいれんするなどです。このような症状で困っているときは、まずは当脳神経センターを受診してください。

センターでは、脳や神経の病気を専門に診療する常勤の脳神経内科専門医7名が、日本臨床神経生理学学会認定脳波・筋電図専門医や老年精神医学会専門医とともに、豊富な診療経験と最新の医療機器による正確な診断と最新の治療を行います。

特に認知症の早期診断・治療、多発性硬化症の免疫治療、パーキンソン病の薬物治療と運動リハビリテーション、脳卒中回復期リハビリテーション、てんかんの専門診療に力を入れています。脳神経疾患の最先端の治療センターとして、外来から入院まで患者様それぞれの生活に寄り添った医療とケアを提供します。

主な疾患

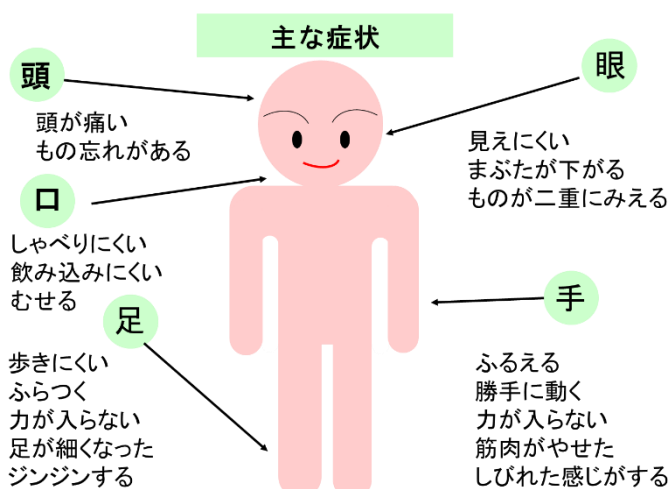
頭痛 てんかん パーキンソン病 認知症
脳卒中 多発性硬化症 慢性炎症性脱髄性
多発神経炎 など

PROFILE

脳神経センター長
国際医療福祉大学教授
吉良 潤一

略歴

1979年	九州大学卒業
1997年	九州大学医学部神経内科学教授
2020年	福岡中央病院脳神経センター長に就任
2020年	国際医療福祉大学教授



このような症状があるときは、受診されることをおすすめします

●脳神経内科部門

(日本神経学会認定脳神経内科専門医教育施設)

脳神経センター長・国際医療福祉大学教授

吉良 潤一

専門：脳神経疾患全般、脳神経免疫疾患・脱髄疾患

元九州大学病院副院長

前九州大学大学院医学研究院神経内科教授

前福岡市認知症疾患医療センター（九州大学病院）センター長

日本神経学会認定指導医・脳神経内科専門医

日本脳卒中学会認定指導医・脳卒中専門医

日本認知症学会認定指導医・認知症専門医

日本頭痛学会認定指導医・頭痛専門医

日本内科学会認定内科医

ベストドクターズ（2020-2021）選出

福岡県・福岡市難病相談支援センター長

医学博士

脳神経センター 認知症診療部長

山下 謙一郎

専門：脳神経疾患全般、認知症

前九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学助教

日本内科学会認定総合内科専門医

日本神経学会認定指導医・脳神経内科専門医

日本認知症学会認定認知症指導医・専門医

医学博士

脳神経内科部長・国際医療福祉大学准教授

中村 優理

専門：脳神経疾患全般、脳神経免疫疾患・脱髄疾患

前九州大学特任助教

日本内科学会認定総合内科専門医・認定内科医

日本神経学会認定指導医・脳神経内科専門医

医学博士

脳神経内科副部長

岩永 育貴

専門：脳神経疾患全般、パーキンソン病、脳卒中

前松山赤十字病院神経内科副部長

日本神経学会認定脳神経内科専門医

日本内科学会認定内科医

柳原 由記

専門：脳神経疾患全般、認知症

前九州大学神経内科医員

前福岡市認知症疾患医療センター（九州大学病院）医員

日本内科学会認定総合内科専門医

日本神経学会認定脳神経内科専門医

迫田 礼子

専門：脳神経疾患全般、回復期脳卒中、脳神経免疫疾患・脱髄疾患

前九州大学神経内科医員

日本内科学会認定総合内科専門医

日本神経学会認定脳神経内科専門医

医学博士

齋藤 万有

専門：脳神経疾患全般、回復期脳卒中、頭痛・神経障害性疼痛

前九州大学神経内科医員

日本神経学会認定脳神経内科専門医

日本内科学会認定内科医

●臨床神経生理検査部門

福岡国際医療福祉大学教授

飛松 省三（非常勤）

専門：脳神経疾患全般、てんかん、不随意運動

前九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学教授

日本神経学会認定指導医・脳神経内科専門医

日本臨床神経生理学会認定指導医・専門医（脳波分野）

日本臨床神経生理学会認定指導医・専門医（筋電図・神経伝導分野）

日本内科学会認定内科医

医学博士

稲水 佐江子（非常勤）

専門：脳神経疾患全般、末梢神経障害、高次脳機能障害

前九州大学病院脳神経内科副棟医長・医員

日本神経学会認定脳神経内科専門医

日本臨床神経生理学会認定専門医（脳波分野）

日本臨床神経生理学会認定専門医（筋電図・神経伝導分野）

日本内科学会認定総合内科専門医・認定内科医

医学博士

●老年精神科部門

福岡国際医療福祉大学教授

尾籠 晃司（非常勤）

専門：精神疾患全般、認知症、老年期精神疾患

前福岡大学精神科准教授

前福岡市認知症疾患医療センター（福岡大学病院）センター長

日本精神神経学会認定指導医・専門医

日本老年精神医学会認定指導医・専門医

日本認知症学会認定指導医・専門医

医学博士

●リハビリテーション部門

リハビリテーション室長代理

上田 信弘

専門理学療法士（運動器）

地域包括ケア推進リーダー

介護保険予防推進リーダー

日本理学療法士協会 協会指定管理者（上級）

がんのリハビリテーション研修会修了

理学療法士 10名

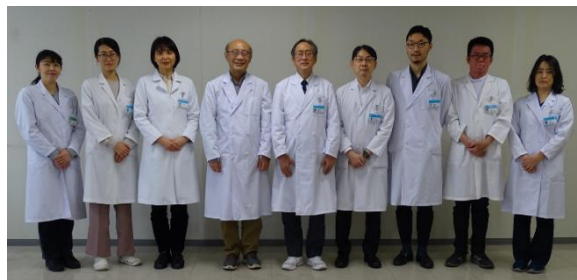
作業療法士 2名

言語聴覚士 1名

外来診療部門

脳神経内科専門外来

●脳神経内科専門医 9名（常勤7名と非常勤2名）が専門的な診療・検査・治療にあたります。月曜日から土曜日まで脳神経内科専門外来と各種専門外来を行っています。初めての方は受診予約していただくと待ち時間が少なくなります。



診察受付	月	火	水	木	金	土
午前 8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
午後 13:30～16:30	○	○	○	○	○	なし

もの忘れ専門外来（脳の健康クリニック）

●もの忘れや認知症は、早期診断と早期治療開始が大切です。脳神経内科専門医・認知症学会専門医・老年精神医学会専門医が、脳と心の両面から、豊富な診療経験と様々な医療機器を駆使して正確な診断を行います。専門医、理学療法士・作業療法士、看護師が、チームを組んで最新の薬物療法、リハビリテーション、心のケアを実施します。

脱髄疾患専門外来

●多発性硬化症(MS)・視神経脊髄炎(NMO)や慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)など国指定の難病の早期の正確な診断と、最新の治療薬による再発や障害の進行の防止を行います。脳神経免疫疾患の専門医が最新の医療情報と豊富な経験に基づいた治療を実施します。

てんかん専門外来

●てんかん学会理事を務めた脳波専門医（日本臨床神経生理学会認定）が、てんかん患者さんの専門的な診療を行っています。全員で脳波所見やMRI所見を検討して、それぞれの患者さんに最適な治療薬を決めています。最新の抗てんかん薬でてんかん発作を効果的に抑えることができます。



頭痛専門外来

●頭痛学会専門医が、様々なタイプの頭痛を診療しています。難治性の頭痛は、複合的な原因で起こっていることも多く、専門医による的確な病態診断が大事です。難治性の片頭痛には最新の予防薬を使うことができます。

主な検査

●脳・脊髄 MRI（3.0 テスラ） 脳波検査 神経伝導検査 誘発電位検査 針筋電図 高次脳機能検査 神経超音波（エコー） 抗神経抗体検査 脳脊髄液検査 マイクロニューログラフイー SPECT/CT・PET/CT（福岡山王病院と提携）など



主な治療

●脳神経免疫疾患の免疫治療・疾患修飾薬 抗てんかん薬 パーキンソン病の薬物治療（デュオドーパ登録準備中も含む）と運動リハビリテーション（LSVT: Lee Silverman Voice Treatment など） 抗認知症薬と認知症作業療法 痙縮や顔面けいれんのボトックス治療 片頭痛治療薬 など

病棟診療部門

当センターでは患者様の状態とご希望に応じて、一般病床、地域包括ケア病床、療養病床がご利用いただけます。

一般病床

- 主に急性期の入院治療を必要とする患者様のための病床です。医師や看護師が最も手厚く配置され、集中的・効率的に必要な脳神経関係の総合的検査を受けることができます。正確な神経診断に基づいた、最新の脳神経内科治療を提供いたします。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、チームで社会復帰に向けたリハビリテーションを積極的に実施します。

地域包括ケア病床

- 地域包括ケア病床は、急性期の治療を終了し病状が安定した患者様に対して、リハビリテーションや退院支援などの効率的かつ密度の高い医療を提供することを目的として、国からの許可を受けた在宅復帰支援のための病床です。
- 在宅復帰に向けて積極的なリハビリが必要な時やもう少し経過観察が必要な時にご利用いただけます。地域包括ケア病床を活用して、安心して退院していただくことができます。

療養病床

- 療養病床は、一般病床での急性期治療を終えたものの、長期的に医療ケアが必要な患者様のための病床です。国で定められた厳しい基準をクリアした療養病床では、充実した医療ケアを受けることができます。

脳神経リハビリテーション

- 入院中は専門的な脳神経リハビリテーションを受けることができます。特にパーキンソン病のリハビリテーションは、リーシルバーマン・ビッグ運動療法の講習を受けた認定者が実施します。LSVT®BIGは、日常動作や歩行を大きく行えるよう練習するプログラムです。LSVT®LOUD1は、声を大きくする訓練プログラムです。また脳卒中は、できるだけ早くリハビリテーションを始めることが回復の早道です。脳卒中急性期の後には、在宅復帰に向けて集中的なリハビリテーションを受けることができます。



地域医療連携室

- 地域医療連携室では、一般病床・地域包括ケア病床・療養病床への入院・転院相談（無料）を随時受け付けていますので、お気軽に相談ください。丁寧に相談対応し、患者様のニーズに応じた病床へ円滑にご案内いたします。

TEL : 092-741-3310 ※月曜～土曜（祝日除く）
FAX : 092-741-3305

